

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	住宅の省エネ化の普及啓発や支援制度について
調査期間	令和4年1月13日（木曜）～1月26日（水曜）
設問数	全6問（分岐設問除く）
対象モニター数	5,447名
回答モニター数	3,370名（61.9%）

【調査結果概要】

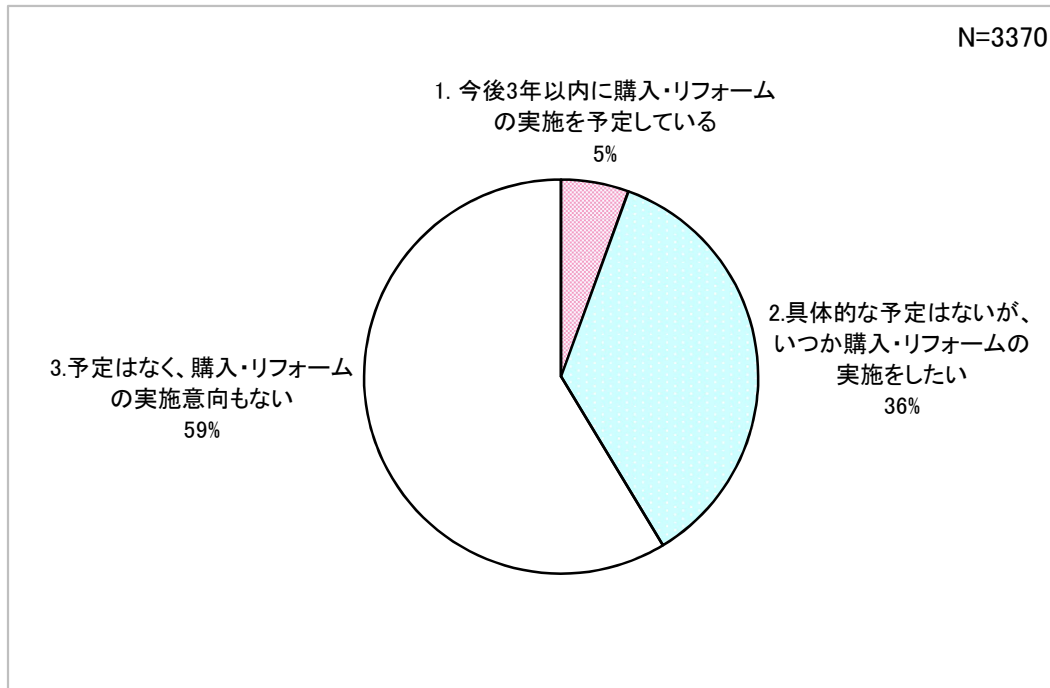
神戸市では、「二酸化炭素の排出の少ないくらしと社会」の実現を目指して脱炭素社会づくりに貢献できる「賢い選択」に取り組む「KOBE COOL CHOICE」の運動を推進しています。その中でも、自宅で過ごす時間が長くなったことを契機に住宅の省エネ化について考えて頂くため「KOBE COOL CHOICE エコ住宅キャンペーン」を展開しています。本キャンペーンで発信している情報や住宅向けの支援制度などについてご意見を伺いました。

まず、国や自治体が住宅の省エネ化に関する支援制度（補助制度など）の認知状況をお伺いしたところ52%の方が「知らない」と回答されました。また、住宅の省エネ化に繋がるキーワードについての、キャンペーン前の時点での認知状況をお伺いしたところ、本市で支援制度を実施してきた太陽光パネルやエネファームの認知度は比較的高かった一方で、HEMSの認知度は8%、ZEHは6.2%と、低い結果となりました。

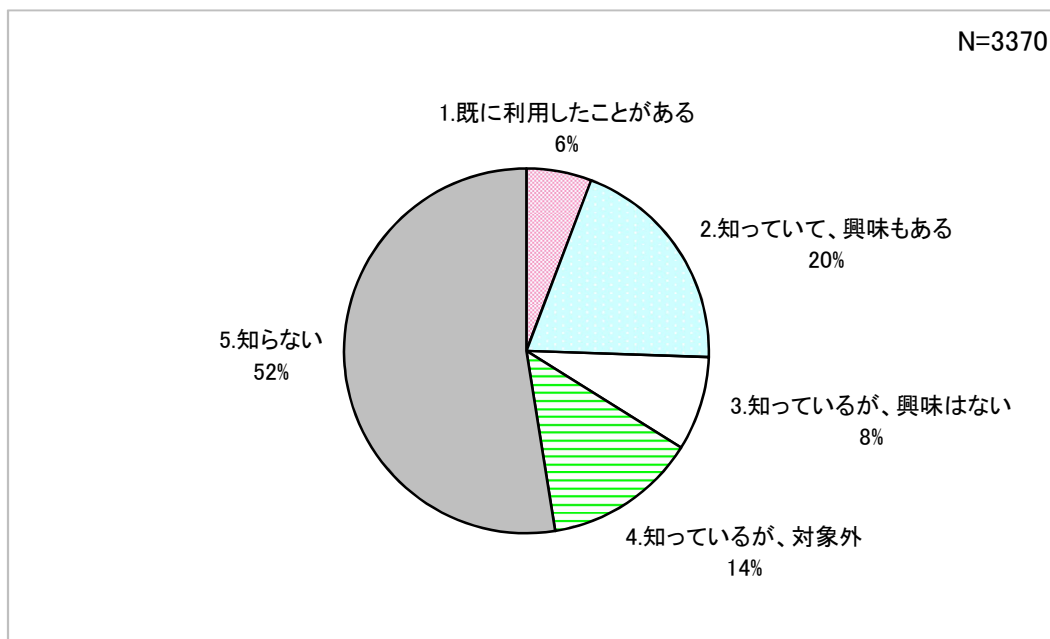
続いて、啓発動画やキャンペーンページをご覧頂いた上で、意識変容や興味、不安、行政に求める支援などのお考えを伺いました。住宅の省エネ化について元々知っていた・興味があったと回答された13%の方に加えて、本キャンペーンに触れられたことで46%の方に興味を持って頂きました。興味を持った主な理由としては ①光熱費が安くなるなどの経済的メリット ②住環境の快適化 ③二酸化炭素削減の必要性 が挙がりました。取り組む上での不安材料としては ①初期導入費用の負担 ②維持管理の手間 ③信頼出来る業者や製品の判断材料不足 が上位に挙がりました。これらの課題に対して行政に求める支援としては、補助金が大多数となりました。住宅の省エネ化に興味はわかかなかったと回答された41%の方の主な理由としては ①現在の住環境に問題が無い ②自分には関係が無い ③啓発動画に魅力を感じなかった が上位に挙がりました。自由意見からは、集合住宅や賃貸住宅、公営住宅に住んでいて出来るか分からないと答えられた方が多数見られました。

今回のアンケートにて具体的に頂いた意見も参考に、住宅の省エネ化の普及啓発に向けた更なる施策の検討を進めたいと考えています。

問1 住宅の購入・リフォームの実施の予定・意向について、最も当てはまるものを選択してください。



問2 国や自治体が住宅の省エネ化に関する支援制度（補助制度など）を設けていることを知っていますか。



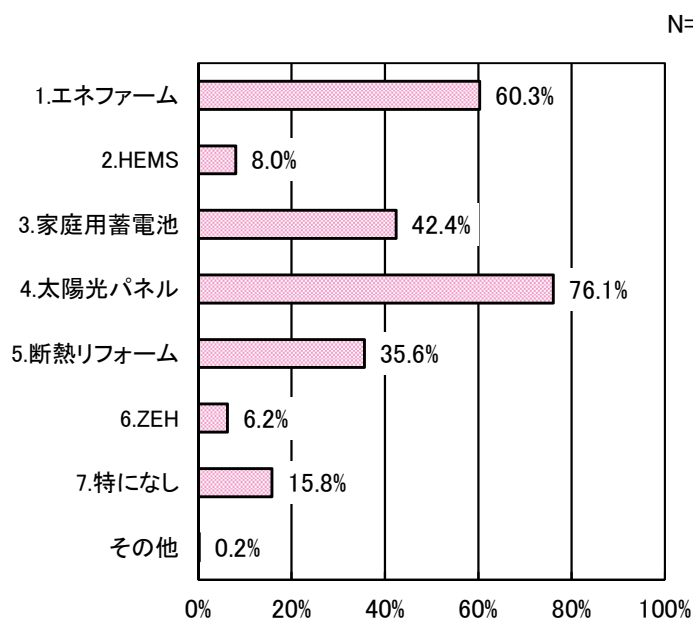
啓発動画はこちらからご確認ください。

https://www.youtube.com/watch?v=N-KUiXz2eUE&list=PLYLG4KN19GSvgEUH_kvmdX31KjdEEJUOh

キャンペーンページはこちらからご確認ください。

https://www.city.kobe.lg.jp/a66324/kurashi/recycle/kankyohozen/eco_jyutaku.html

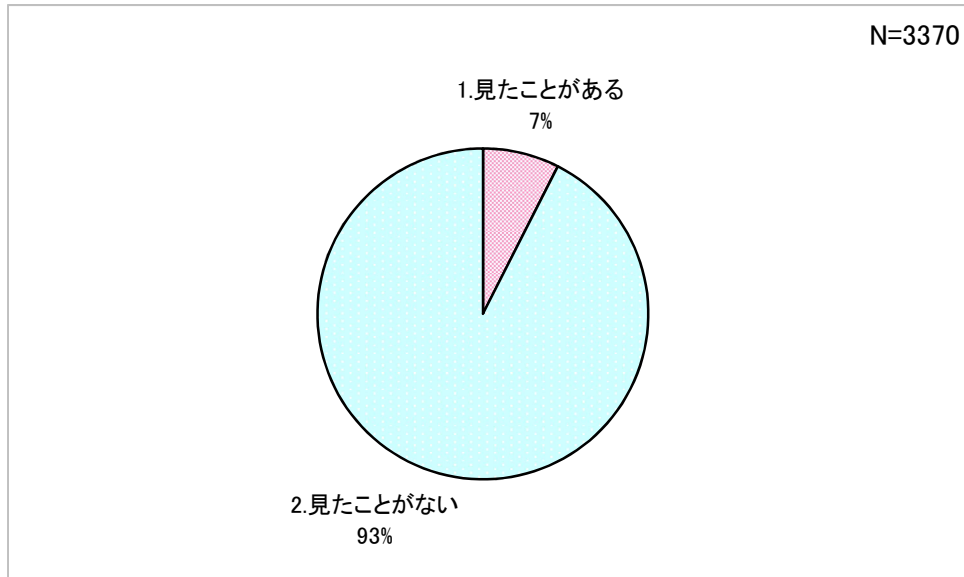
問3 住宅の省エネ化に繋がるキーワードのうち、啓発動画やキャンペーンページを見る前から知っていたものを選択してください。(該当するものすべて)



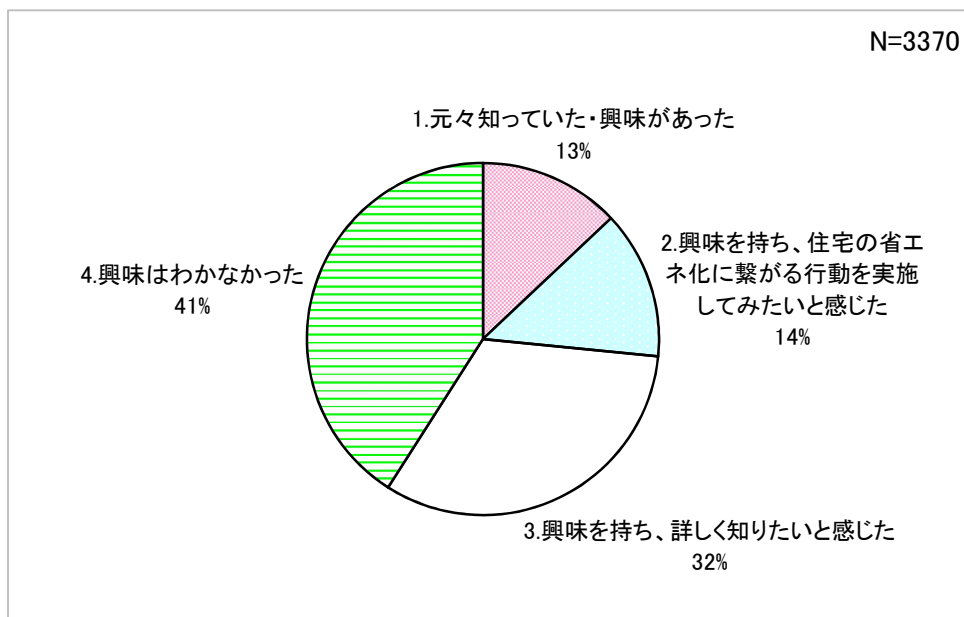
その他

- ・床暖房
- ・屋根に草木を生やして断熱効果を上げる
- ・二重サッシ

問4 啓発動画をインターネット上の広告として見たことがありますか。

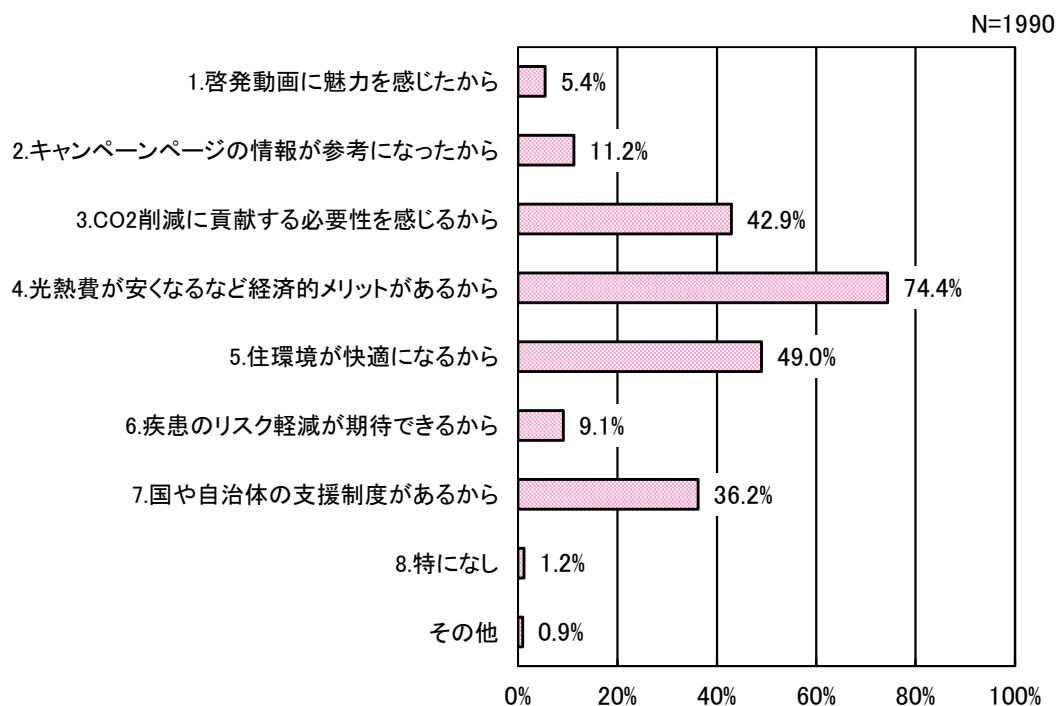


問5 啓発動画やキャンペーンページを見て、住宅の省エネ化について意識は変わりましたか。最も当てはまるものを選択してください。



<すでに興味があった、または興味を持った方>

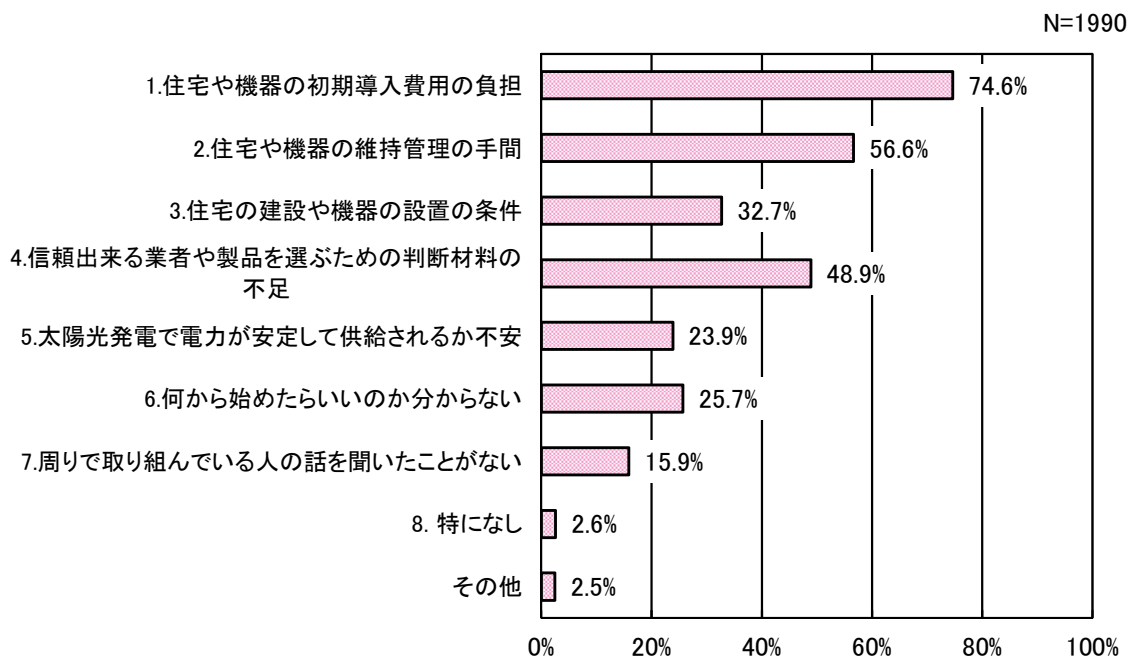
問5-1 住宅の省エネ化について興味を持った理由として当てはまるものを選択してください。(該当するものすべて)



その他

- ・仕事に関連するから
- ・家を建てる時の情報収集のため
- ・地球を大切にしたいから
- ・節約になるから

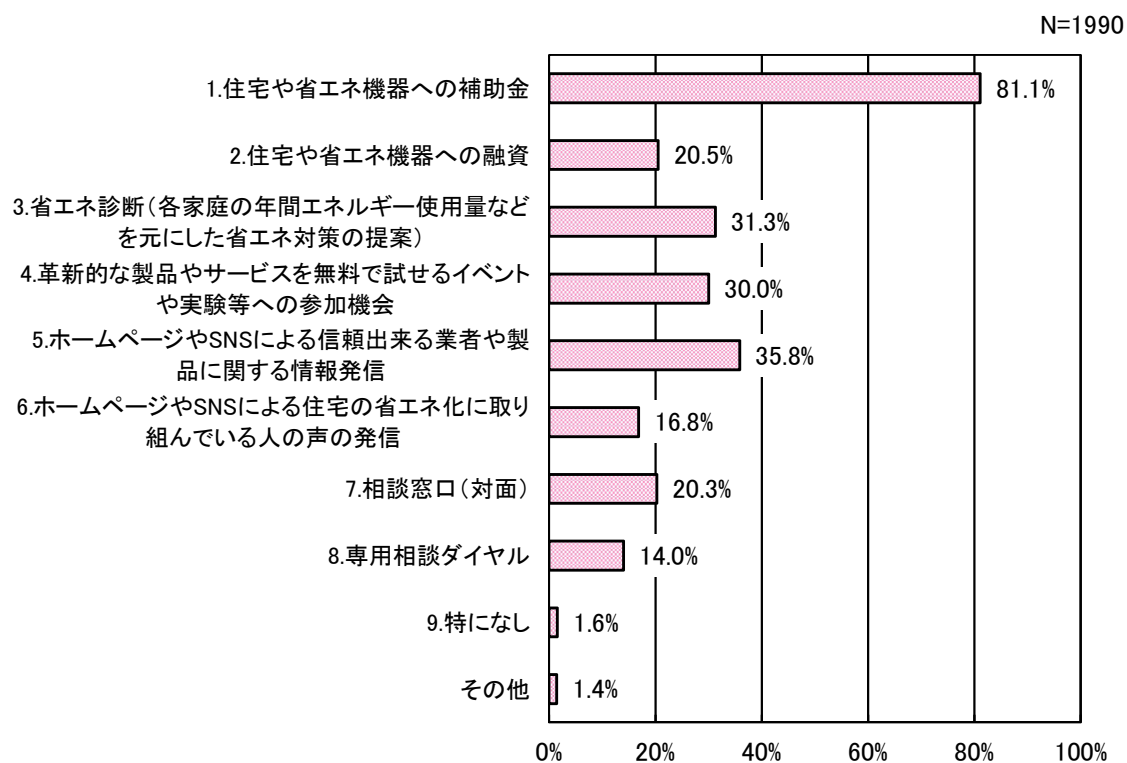
問5-2 住宅の省エネ化に取り組むにあたっての不安や課題はありますか。(該当するものすべて)



その他

- ・集合住宅で出来ることがあるのか分からない
- ・住宅の老朽化
- ・高齢
- ・太陽光パネルの環境負荷
- ・太陽光パネルの廃棄費用
- ・災害時のメリット、デメリット

問5-3 前問で選択した課題に対して行政からどのような支援があればいいと思いますか。(該当するものすべて)

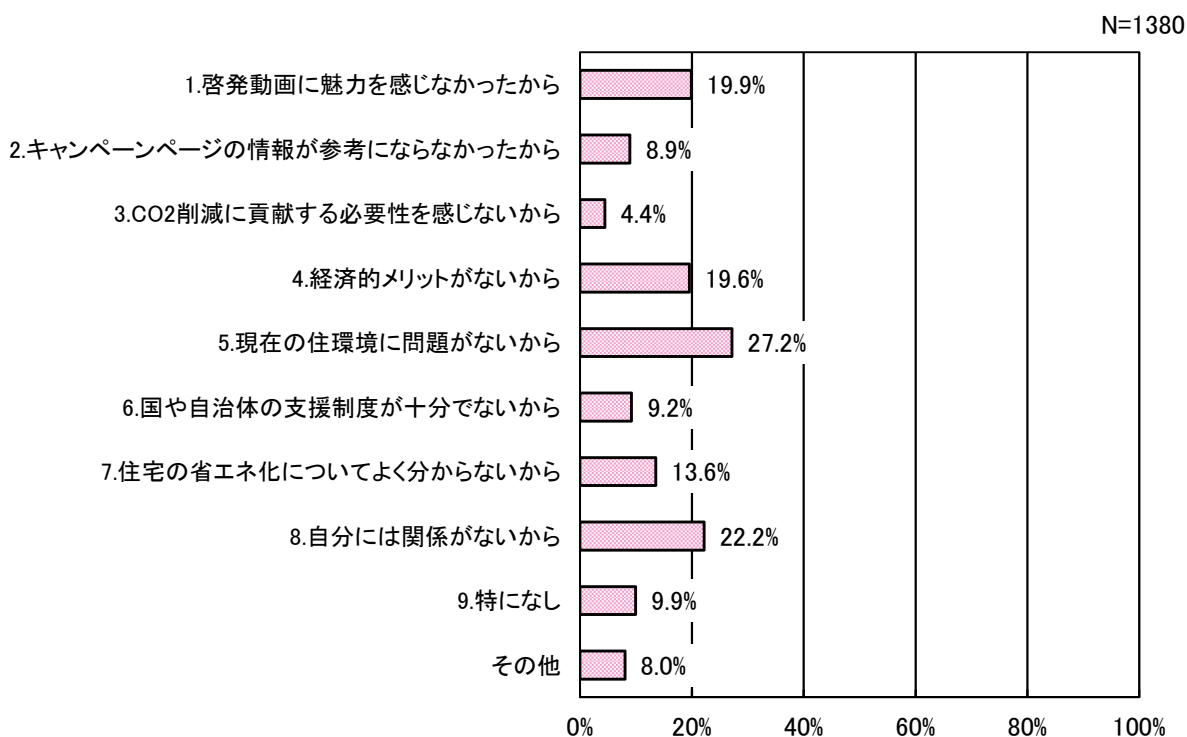


その他

- ・ 賃貸物件の省エネ化の促進にかかる支援
- ・ モデルルームなどでの宿泊体験
- ・ 省エネ度合いのポイント化
- ・ 地域ごとの対面説明会
- ・ 断熱や省エネの統一指標
- ・ 固定資産税減免、住宅ローン控除の拡充などの財政支援

<興味がわかなかった方>

問5-4 住宅の省エネ化について興味がわかなかった理由として当てはまるものを選択してください。(該当するものすべて)



その他

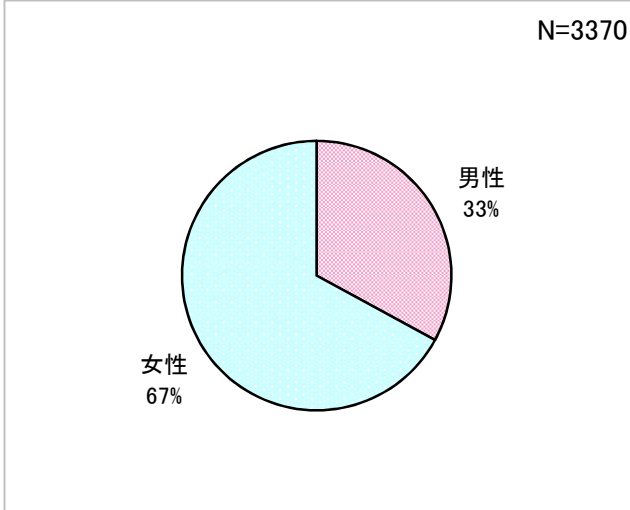
- ・集合住宅や賃貸住宅に住んでいるから
- ・金銭的余裕がないから
- ・住宅の老朽化が進んでいるから
- ・高齢だから
- ・個人や社会に対する効果が分からないから
- ・手続きがややこしいから
- ・災害時のことが心配だから
- ・既に住宅の省エネ化を進めているから

問6 住宅の省エネ化の普及啓発や支援制度について、ご意見、ご感想があればご入力ください。

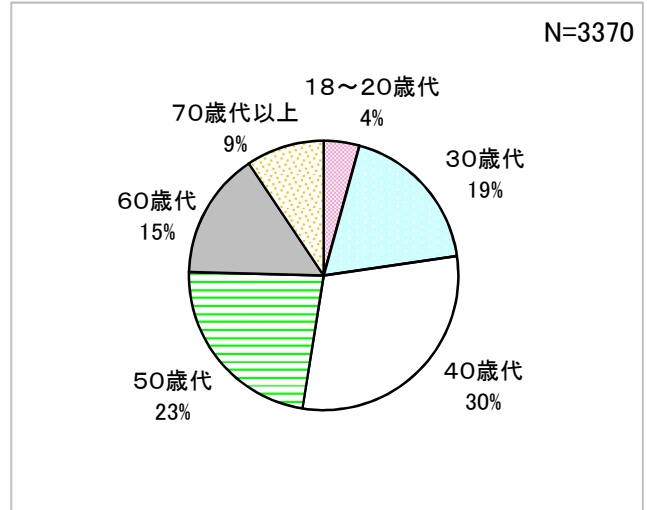
- ・未来のことを考えると必要性を強く感じる。
- ・省エネ化の推進は、防災時の備えにもなるので、資金があれば進めたい。
- ・カーボンニュートラルの実現のためには一定の強制力が必要。
- ・個別で取り組むより地域単位の方がよいのではないか。
- ・住宅を省エネ化した場合のメリットが増えるとよい。
- ・面倒くさいと先送りしている。
- ・支援制度が分かりにくい。
- ・身近に感じるものが少なく、何から始めたらいいかよく分からない。
- ・脱炭素に疑問がある。
- ・コロナ禍で省エネについて考える余裕がない。
- ・高齢者には住宅の老朽化や投資回収の観点から導入が厳しい。
- ・啓発動画を見て、実際にどんなキャンペーンがあるのかを知ることが出来てよかった。
- ・啓発動画が分かりにくく、興味を持てなかった。
- ・広報紙、新聞、SNS、ホームページなどで分かりやすく情報発信してほしい。
- ・住宅の省エネ化について気軽に相談出来る窓口やオンライン窓口がほしい。
- ・集合住宅や賃貸住宅、公営住宅向けの情報がほしい。
- ・太陽光パネルの導入以外にも、交換や廃棄処分に関する情報がほしい。
- ・メリットだけでなくデメリットも知りたい。
- ・家屋の固定資産税を払っている人向けの通知に案内を同封してはどうか。
- ・若い世代が家を所有する場合に省エネについて丁寧な指導があればと思う。
- ・ゴミ削減などの身近な環境キャンペーンと一緒に発信すればよいのでは。
- ・信頼出来る販売施工業者や適正価格をどのように調べたらいいのか示してほしい。
- ・各家庭での取り組みや工夫を広く知らせることや、その効果の程度を広報してはどうか。
- ・市役所が率先して公共施設を改修して参考事例として明示したらよい。
- ・モデル地区を作り、気軽に体験入居出来るようにすれば省エネ住宅の良さが体感出来る。
- ・住宅センターなどでモデル施工例の展示説明会などを実施したら理解が進むのでは。
- ・外観はなるべく変えずに省エネリフォーム済みの古民家があればよい。
- ・太陽光パネルを設置して売電しているが、単価が安い。
- ・省エネ家電への買い替えに対する支援がほしい。
- ・導入費用が高いので補助金がほしい。
- ・省エネ住宅に対する住宅ローン減税の拡充が十分ではないと感じる。
- ・自分がどれくらい省エネ出来ているか分からないので専門家にアドバイスをもらいたい。
- ・市としての具体的な目標を明確に示し、そのための市民への支援策を実施してほしい。

全 573 件のご意見をいただきました。ありがとうございました。

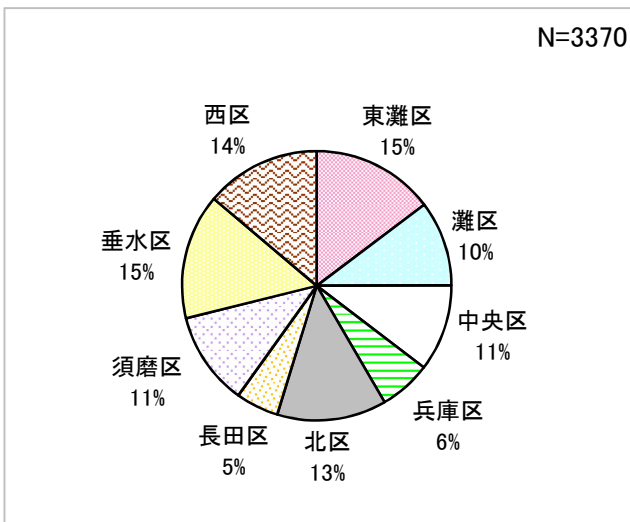
【性別】



【年代】



【区】



【職業】

